



Idea IT College Aso

専門学校 アイデアITカレッジ阿蘇

令和7年度 文部科学省
専修学校の質の保証・向上に関する会議用

観光業界のIT活用リカレント教育モデル事業 について

学校法人アイデア熊本アジア学園 理事長
(専門学校アイデアITカレッジ阿蘇 校長)
井手 修身

- ①アイデアITカレッジ阿蘇(IICA)の紹介
- ②「地域観光×IT活用 実践プログラム」の概要
- ③「初心者歓迎！AIキャリアアップコース」の概要
- ④リカレント教育への課題と展開

井手 修身 (いでおさむ)

- ・アイデアパートナーズ株式会社 代表取締役
- ・学校法人アイデア熊本アジア学園 理事長 (専門学校アイデアITカレッジ阿蘇 校長)
- ・観光・まちづくり総合プロデューサー



- ・1986年 株式会社リクルート 入社
- ・2006年 アイデアパートナー株式会社を起業、九州を中心に旅館・ホテルの再生支援と地域活性化のプランニングに携わる。
- ・2010年 NPO法人アイデア九州・アジアを設立。飲み食べ歩きするイベント「バルウォーク福岡」を開催し、全国一の規模に育てる。
- ・2021年4月 ITと観光サービス人材を育成する学校法人アイデア熊本アジア学園を熊本県南阿蘇村に設立する。
- ・2022年4月 専門学校アイデアITカレッジ阿蘇 (IICA) の開校。
「永遠に完成しない学校(進化し続ける学校)づくり」を目指す。
- ・内閣官房「地域活性化伝道師」 地域活性化を手がける専門家
- ・ふるさと財団「地域再生マネジャー」 地域資ビジネス創出への助言・指導
- ・総務省「地域力創造アドバイザー」 地域人材の育成の専門家
- ・DMO推進機構「理事」 日本版DMOの組織づくりを支援

半企業人 × 半教育者

学校がある南阿蘇村は九州の真ん中にあります。



福岡から車で2時間
阿蘇くまもと空港から車で30分
熊本市内から50分

熊本地震について

2016年4月14日、16日。

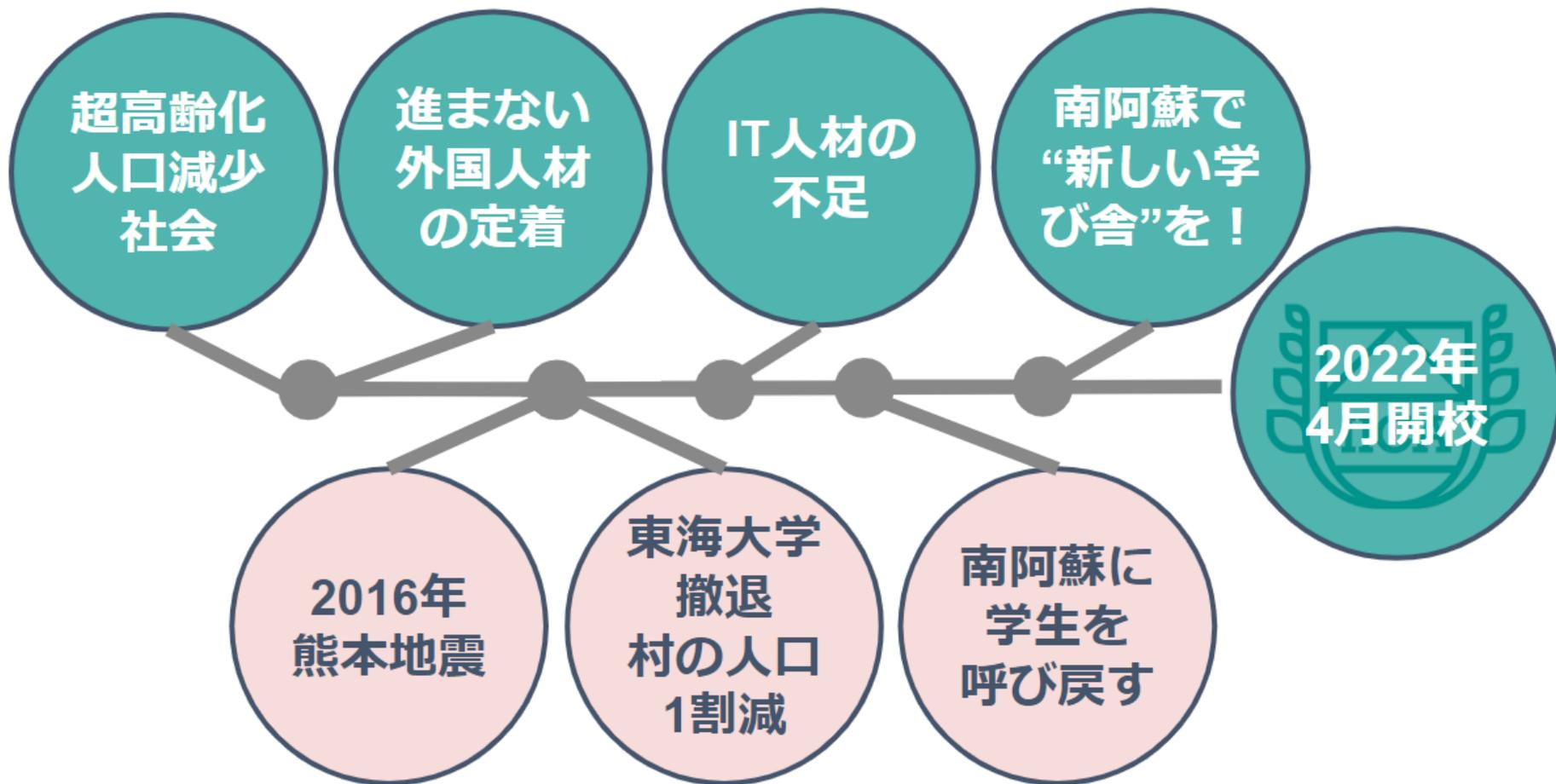
熊本地震は、震度7の揺れが28時間以内に2度発生するという、歴史上、例を見ない大規模災害でした。

272名の尊い命が失われ、負傷者2,738人、20万棟近くの家屋被害が生じています。（2020年3月時点）

また、熊本県のシンボルである熊本城は傷つき、雄大な風景が魅力的な阿蘇地域も至る所で土砂災害が発生し、幹線道路が寸断されるなど、甚大な被害を受けました。発災から4年が経過し、この経験を教訓とし、世界へ発信するため、県内各地



私たちの意識



南阿蘇の状況



R4(2022)年 イデアITカレッジ阿蘇 は開講しました。

【概要】

- ・法人： 学校法人イデア熊本アジア学園
- ・名称： 専門学校イデアITカレッジ阿蘇
- ・代表： 理事長 校長 井手修身
- ・住所： 熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字河陽4518番地
- ・開校： R4(2022)年4月6日
- ・学科： ◇ITソリューション学科 定員 25人
◇地域観光デザイン学科 定員 12人
- ・学生数： 39人(日本学生 18人、国際学生21人)



日本、ミャンマー、ネパール、ベトナム、スリランカ、トルコ、カメルーン、インド、中国、トルコ、フィリピン、



全体39人 日本18人:国際21人





Idea IT College Aso

専門学校 アイデアITカレッジ阿蘇

ITの力で、地域のミライを創る。

IICAの挑戦：永遠に完成しない学校づくり
～企業・地域・社会と共に変化・挑戦することを許容する学校づくり～

2つの学科と3つのコース

ITソリューション学科



ITの力で

地域の課題を解決するエンジニアを目指す。

エンジニアコース

IT×地域×プログラミング。プログラミング基礎、AIやIoT、セキュリティなど新しい分野のIT技術を学び、農業や観光など地域の課題を解決するエンジニアを目指す。

目指せること

IT企業 一般企業のIT部署



カリキュラムや
学科の詳細は

地域観光デザイン学科



ホテル・観光ビジネスで

地域を盛り上げる人材を目指す。

ビジネスコース

IT×地域×ビジネス。テクノロジーやITツールを使いこなし、マーケティングの基礎や語学力を武器に、観光ビジネスで地域を盛り上げる人材を目指す。

旅行会社 観光マーケティング企業

ホテルマネジメントコース

IT×地域×宿。観光業の中核を担うホテルや旅館において、DXやデジタル化を進め、地域へ観光客を呼び込むホテル・旅館マネジメント人材を目指す。

目指せること

ホテル・旅館業

ホテルや旅館で働きたい
日本や地域の魅力を伝えたい

実践スキル

デジタルスキルとITリテラシー

- # プロから学ぶ
- # 65社以上の企業と提携
- # 注文式教育企業との提携
- # 実践を通して学ぶ



主体性

創造性

起業家から学ぶ

プロジェクトを通して学ぶ

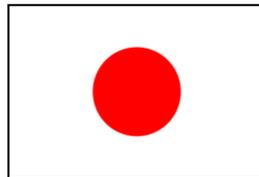
体験から学ぶ



グローバルとローカル

ダイバーシティ&インクルージョン

- # 7カ国の学生と学ぶ
- # グローバルな学園祭
- # 阿蘇から世界と繋がる



■就職希望者の就職者数(自営含む) 34人、就職率 94%

その内、熊本県内就職者数 19人、就職率 53%

2024~2025年(1,2期生 合計42人)

阿蘇地域内就職者数 6人、就職率 18%

※外国人留学生の就職・進学率は100%

■進学者数 5人(岡山大学、立命館アジア太平洋大学等)

■南阿蘇村 居住者数 28人(日本 7人、国際 21人)

2025年4月1日現在 39人

■南阿蘇村 アルバイト従事者数 23人

2025年4月1日現在

■阿蘇地域での小中高生との授業連携・交流 20回

2023~2024年度

高森高校、阿蘇中央高校、小国高校、南阿蘇村中学校、南阿蘇村小学校

学外活動支援の場、地域内外住民との交流の場「阿蘇の朝飯会」毎月開催 13回、延べ240人



ビジネス&リトリートの宿
オルサみなみあそ



あそのちょうはんかい

阿蘇の朝飯会

阿蘇の朝飯会（ちょうはんかい）とは「つながる場」。
長崎県波佐見町で20年、250回以上にわたり開かれている人智結集の場に習い、
朝御飯を食べながらゆ〜っくり、わいわいと談話する場です。
毎月1回開催予定。皆様のご参加をお待ちしています。

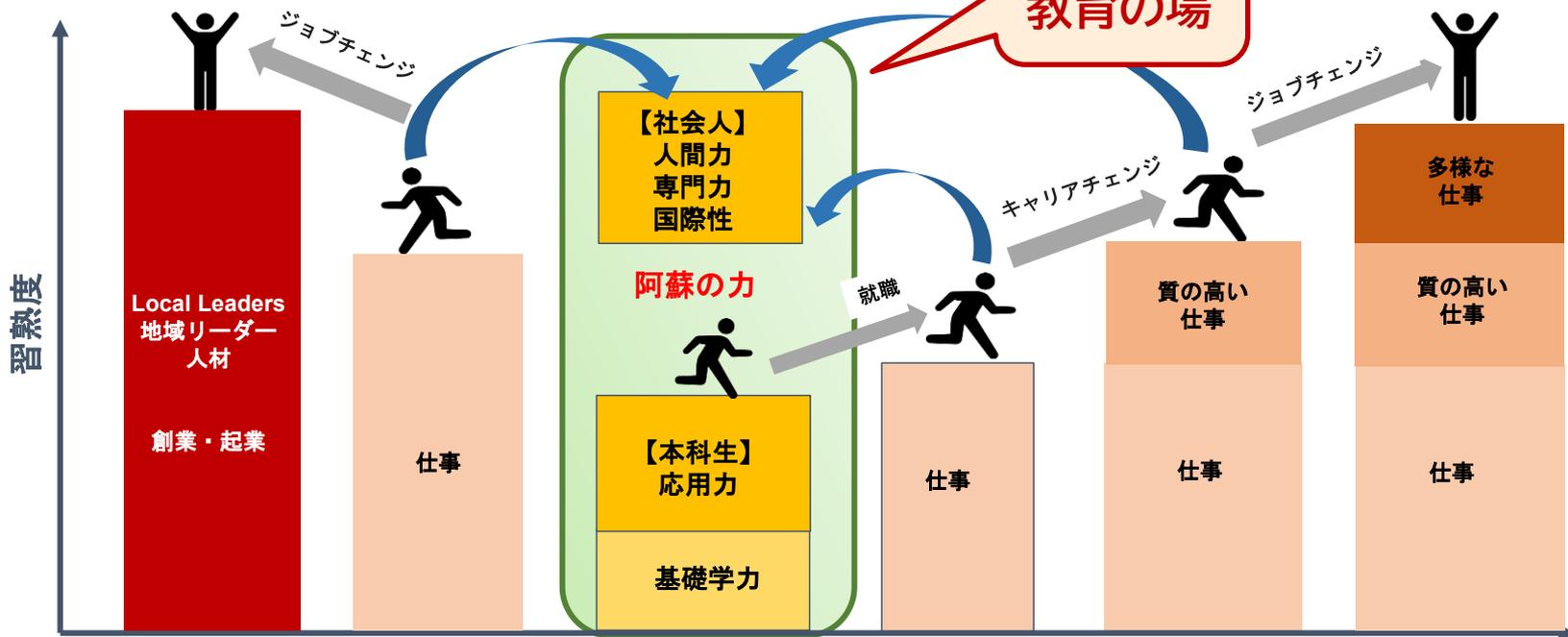


自分の「やりたいこと」が叶う自ら学ぶ(学び続ける)場

Learning Community

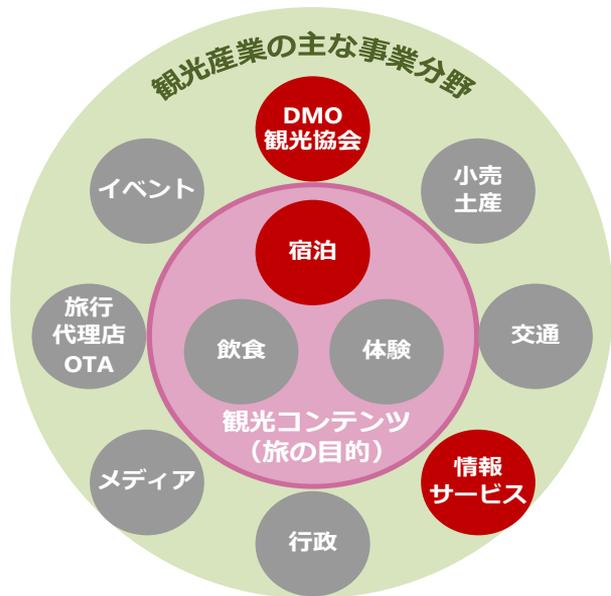
Idea IT College Aso

リカレント
教育の場



「リカレント (recurrent)」とは、「繰り返す」「循環する」という意味で、リカレント教育とは、学校教育からいったん離れて社会に出た後も、それぞれの人の必要なタイミングで再び教育を受け、仕事と教育を繰り返すこと。自分自身が選ぶ。

「リスキリング」は社内の業務に必要な知識やスキルを持たない従業員に対して行われるもので、会社で働きながら新しいスキルを学ぶこと。今持っているスキルを磨き続けながら、+αの新しいスキルを身につけること。



観光産業の中でも、特に着目すべき IT活用リカレント教育ニーズを持つ3つの分野

(1) 雇用創出力は高いが労働生産性が著しく低い、宿泊業を中心とする

観光コンテンツ分野【宿泊施設】

● 熊本県旅館生活衛生同業組合

IT利活用人材

(2) 専門性が高度化してIT利活用人材需要に供給が追い付いていない

エリアマネジメント分野【DMO、観光振興団体】

● 公益社団法人熊本県観光連盟

(3) 観光事業に精通し、外からITアイデアとテクノロジーを持ち込む

情報サービス分野【IT企業】

ITエンジニア人材

● 熊本県情報サービス産業協会 ● 南阿蘇ITバレー協議会

【IT活用リカレント教育の2つの人材像】

観光業界の業務内容に精通しつつ、ITやテクノロジーを活用して
観光業界をリードするIT利活用人材とITエンジニア人材の2つを設定

基本情報	内容・目標等
学習ターゲット 目指すべき人材像	観光（①宿泊分野、DMO、自治体の観光担当者、②観光業を支援する情報サービス企業）業界で、リカレント教育のIT利活用スキルを習得して、現場でITを駆使して、即戦力となる実務人材とする。
対象者のレベル	<p>①IT利活用コース～観光（宿泊施設、DMO・観光関連事業者）業界に従事した経験や他業界で地域観光に関心が高い人材。</p> <p>②ITエンジニアコース～情報サービス企業でITに関する基本的な知識やスキルがある（渉外・営業・一般職）方で、観光を支援するサービスに関心が高い若手から中堅人材。</p>
目標受講者数	<p>R6年度：①IT利活用コースのみ 本科生 12人、聴講生28人、 合計40人</p> <p>R7年度：①IT利活用コース、②ITエンジニアコース</p>
総授業時数	<p>①IT利活用コース 30時間</p> <p>②ITエンジニアコース 36時間</p>
受講期間	<p>①IT利活用コース 6か月間</p> <p>②ITエンジニアコース 6か月間</p>

無料受講料

地域観光 × IT活用

こんな方にオススメの講座です!

- ✓ 地域観光の現場で生きるスキル、知識を身に付けたい
- ✓ SNSやIT、分析ツールを使って効果的なマーケティングを知りたい
- ✓ 観光業界でキャリアアップしたい
- ✓ 地域観光(DMO、宿泊・観光施設、行政の観光担当等)に従事している方
- ✓ 将来、観光業に従事したい方、観光業で起業したい方

社会人向けスキルアップ講座
地域観光 × IT活用 実践プログラム

◆実施期間：2024年8月29日◎～11月14日◎
◆講座形態：オンライン科目 (Googlemeet) 対面実施科目、現地研修
◆対象者：観光に関わっている方や地域観光について知見を広げたい方、IT活用スキルを習得し、地域で貢献できる人材になりたい方へ
◆実施主体：専門学校 (〒86

Idea IT College Aso
専門学校 アイデアITカレッジ阿蘇

詳しくはコチラ

社会人向け
オンラインと対面コースの2択 School
無料で受講可能!

<https://sites.google.com/iica.jp/recurrent/home?authuser=0>

無料受講料

地域観光 × IT活用

宿泊・観光事業者にオススメ!

こんな方にオススメの講座です!

- ✓ 地域観光の現場で生きるスキル、知識を身に付けたい方
- ✓ SNSやIT、分析ツールを使った効果的な活用法を知りたい方
- ✓ 観光業界でキャリアアップしたい
- ✓ 観光業、宿泊業の業務を効率化したい方
- ✓ 将来、観光業に従事したい方、観光業で起業したい方

社会人向けスキルアップ講座
地域観光 × IT活用 実践プログラム

◆実施期間：2024年8月29日◎～11月14日◎
◆講座形態：オンライン (Googlemeet)、対面科目
◆対象者：観光に関わっている方や地域観光について知見を広げたい方

地域観光ビジネス6

阿蘇の地域産業と
宿泊業の未来について
2024
10/03 18:00～19:30
講師 阿蘇市 阿蘇市観光課 永田 浩之

観光 × IT活用
観光地経営に
必要なデータ活用
2024
10/15 18:00～19:30
10/17 18:00～19:30
講師 株式会社 地域観光ビジネス・アソ 阿蘇市観光課 富田 祐幸

観光 × IT活用
観光でのAI事例と
生成AIの利活用方法
2024
10/22 18:00～21:00
講師 株式会社 フライド・アソ 阿蘇市観光課 増尾 孝一

観光案内
SNS & PR実践
YouTubeが教える
インバウンドに向けた情報発信
2024
11/07 12:30～15:30
講師 株式会社 フラッシュ・アソ 阿蘇市観光課 櫻井 亮太郎

SNS & PR実践
インスタで魅力を発信!
効果的なマーケティング戦略
2024
11/14 12:30～15:30
講師 アソ市観光課 阿蘇市観光課 藤原 孝一

詳しくはコチラ

社会人向け
オンラインと対面コースの2択 School
無料で受講可能!

分野(科目群)	形式	科目数	内容
地域観光ビジネス	オンライン配信	6科目	地域観光の活性化に携わる実践者と研究者のリアルな経験やデータに基づいた学びから、持続可能な地域活性化を実現するためのヒントを探る。
観光×IT活用	オンライン配信	3科目	観光をテーマに、無料で使えるデータや分析・AIツールで講師が実演！基礎から応用まで実務ですぐに活かせるノウハウを学ぶ。
SNS&PR実践	熊本市内での対面	2科目	YouTuber・インフルエンサー直伝！観光におけるリアルな集客に結びつくPR方法やマーケティングについて対面ワークで実践的に学ぶ。
現地研修	南阿蘇でのフィールドワーク	1泊2日	アイデアITカレッジ阿蘇を拠点にフィールドワークを実施。教科書では学べないリアルな南阿蘇を体感し、本校講師兼みなみあそ観光局職員である久保堯之と観光への取り組みや現況について理解を深める。

オンライン配信		No.	実施日	概要	担当者	対象者
地域観光ビジネス	1	8月29日(木)	18:00～19:30	滞在型×高付加価値観光を確立するための5つのポイント	嶋田 俊平 (株式会社さとゆめ 代表取締役CEO)	全員
				昨今の観光分野では、「滞在型」と「高付加価値型」がトレンドワードになっている。そんな滞在型×高付加価値観光の事業化に取り組んできた講師が、経験を踏まえて、重要なポイントを解説する。		
	2	9月5日(木)	18:00～19:30	観光地経営とDMOの役割	小野田 金司 (大阪観光大学観光学部 特任教授・コーディネーター)	全員
				地域DMOの人材不足、資金不足などの課題をどのように解決するか、またこれからの地域DMOの未来を現役の地域DMO理事長が事例を紹介しながら提案する。		
	3	9月12日(木)	18:00～19:30	くまモンから地域ブランディングを考える	柳田 紀代子 (尚絅大学現代文化学部長)	全員
				「くまモン」の誕生秘話から、なぜ人気者になったのか、これまでの軌跡をお話し、くまモンのもたらした成果を地域ブランディングの観点から考えていく。		
4	9月19日(木)	18:00～19:30	想いをカタチに価値創造の実現 世界があこがれる九州をつくる	村岡 浩司 (株式会社 一平ホールディングス 代表取締役社長)	全員	
			「ONE KYUSHU」をテーマに、人と地域の壁を溶かして広域リージョン経済圏へ変える。社会課題の解決を目指す成長するローカル企業を通じて、「地元」の在り方と地域の成長戦略、市場創造から価値創造への転換を考える。			
5	9月26日(木)	18:00～19:30	売れる！観光商品の作り方	門田 隆 (株式会社マスカノ 代表取締役・クリエイティブディレクター)	全員	
			現役の観光コンテンツプロデューサーが開発した商品事例を紹介。事例を基に、開発プロセスやノウハウを詳しく伝授。キレイごとではないナマナましい話も満載。観光中核組織や地域事業者の提供する観光商品も取り上げる。			
6	10月3日(木)	18:00～19:30	阿蘇の観光産業と宿泊業の未来について	永田 祐介 (蘇山郷 三代目 館主)	全員	
			コロナ禍も明け、円安の悪影響もありインバウンドも戻ってきているが、照準に回復している地域とそうでない地域に分かれている。現状で阿蘇で抱える課題を参考に、地域が目指す持続可能な観光地のあり方を議論する。			

オンライン配信		No.	実施日	概要	担当者	対象者
観光×IT活用	7	10月10日(木)	18:00～19:30	事例から学ぶデジタルマーケティング	中川 智博 (Tokyo Creative株式会社 代表取締役)	正規受講生のみ受講可能
				高輪岡から始まり、事例共有やケーススタディで学習の定着化を図る。定番、優秀なマーケティング、フレームワーク、施策、実施フローを網羅し、デジタルマーケティングを体系的に学び使いこなす力を養う。		
	8-1	10月15日(火)	18:00～19:30	観光地経営に必要なデータ活用①	富田 祐策 (地域創生Coデザイン研究所 研究主任 リードCoクリエイター)	正規受講生のみ受講可能
				観光DXや最新トレンドや成功事例を紹介。		
8-2	10月17日(木)	18:00～19:30	観光地経営に必要なデータ活用②	増倉 孝一 (株式会社 プライナビジョン 代表取締役社長)	正規受講生のみ受講可能	
			価値ツールやオープンデータの活用法を紹介。観光現場へのデータ組み込み方法を具体的に学び実践に役立つ手法を習得する。			
9	10月22日(火)	18:00～21:00	観光でのAI活用とChatGPTができること			
			観光でのAI活用事例と生成AIの活用方法を学ぶ。AIの基本概念、社会への影響、観光業界での活用事例、生成AIの種類とその利用方法をカバーし、グループワークで具体的なAI活用アイデアを検討する。			

熊本市内 対面開催		No.	実施日	概要	担当者	対象者
SNS&PR実践	10	11月7日(木)	12:30～15:30	YouTuberが教えるインバウンドに向けた情報発信	櫻井 亮太郎 (株式会社 ライフブリッジ 代表取締役)	全員
				全国各地での観光プロモーション経験に基づき、外国人に刺さる情報発信について具体例を交えながら解説。SNSを活用したPRの基礎やアイデア、訪日外国人が求めるコンテンツ、ChatGPTを活用したハッシュタグの見つけ方を学ぶ。		
11	11月14日(木)	12:30～15:30	インスタで魅力を発信！効果的なマーケティング戦略	こうよう (インフルエンサーカメラマン/SNSマーケティング)	全員	
			SNS活用の重要性から質の高い投稿作成、「ハッシュタグ選定」、「フォロワーとのエンゲージメント強化、資産となる広告運用、ファン化までを学ぶ。地域の魅力を広く発信し、集客力を高めリピーター増加に役立てる方法を習得する。			

南阿蘇フィールドワーク		No.	実施日	概要	担当者	対象者
現地研修	FW Day1	9月28日(土)	13:00～17:00	デジタル時代の地域課題解決 実践	久保 堯之 (アイデアITカレッジ阿蘇 地域観光デザイン学 学 科 教 員)	希望制
				地域活性化に取り組む上で必要な、地域経済への理解、コミュニケーションやマネジメントに関するスキル、戦略の考え方、ITツールの活用法などを学ぶ。		
FW Day2	9月29日(日)	9:00～12:30		復興と観光地域づくり 実践		
				地方で活動する際にも不可欠な自然災害との向き合い方、ITを活用した回復力の高い地域、組織のあり方について、熊本地震震災ミュージアムKIOKUの視察、復興リーダーとの意見交換を通して学ぶ。		

【受講者 受講結果】

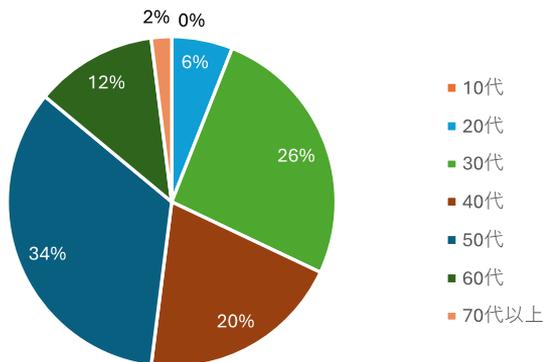
受講者数		
①正規受講生	57名	目標380% ▶
内、受講証明書発行者数	42名	74%
②部分受講生	46名	
①+②受講生 合計	103名	目標258% ▶

受講形式別受講者数	講座数	時間	
オンライン講義形式	6回	9.0時間	349名
オンライン実践形式	3回	7.5時間	150名
熊本市内対面形式	2回	6.0時間	33名
南阿蘇フィールドワーク	1回	7.5時間	15名
受講者数(延べ) 合計	12回	30.0時間	547名

【1. 年代】

受講者の中心は30代26%、40代20%、50代34%であり、ある程度の社会経験とキャリアを積んだ層が、自己研鑽や業務への応用を目的として受講していると考えられる。

ただし、60代も12%おり、幅広い年齢層の受講が見られる。



【2. 所属組織のカテゴリ】

当初ターゲットで想定した「DMO・観光協会」4%、「宿泊業」10%と低かった。特に「宿泊業」は、平日の午後に対面講座を設けたものの受講者は低かった。観光関連事業者（行政含む）と50%であった。当初の想定では少ないとされていた「観光関連以外の事業者」「その他」が50%を占め、人材エージェント、ICT、経営コンサルタントなど多様な分野からの参加が見られた。

所属組織のカテゴリ(選択肢)		
DMO・観光協会	2	4.0%
宿泊業者	5	10.0%
観光関連事業者(飲食・物販・体験・旅行)	10	20.0%
行政	8	16%
観光関連以外の事業者	12	24.0%
その他	13	26%
計	50	100%

ターゲットの再設定

- * 宿泊施設、DMO、観光振興団体はニーズはあるものの、実際の受講へのハードルが高い。
- 観光関係事業者以外で、観光地域づくりや地域活性に関心が高く、IT利活用に関心が高い個人の想定

講座内容のブラッシュアップ

- ターゲット再設定のもと、アンケートを基に、講座構成のバランス、受講者レベルへの配慮などの見直しを実施する。
- IICAの既存講座やカリキュラムとの相互連携（講師のシェア、講座の時間、開催時期）をはかる。

双方向性の強化

- 質疑応答、ディスカッション、課題、受講生同士の交流機会を積極的に設けるなど、より充実した講座にする。

コミュニティ形成支援

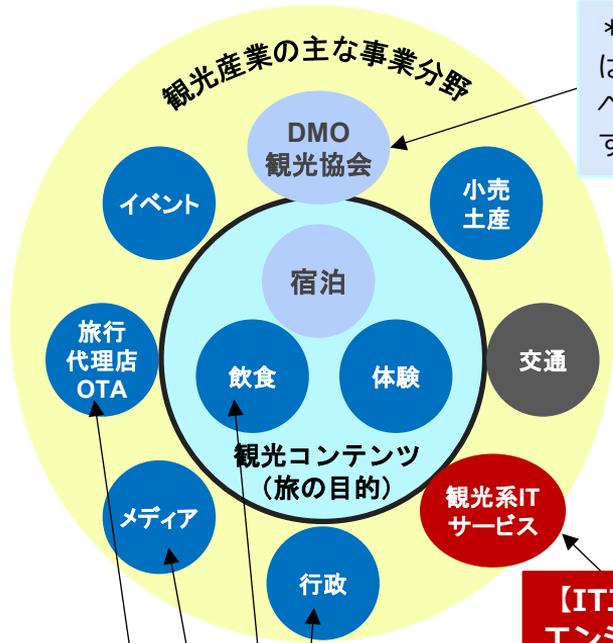
- 受講生同士の継続的な交流を促進するための場（例：オンラインコミュニティ）の提供を検討する。

価格設定と講座規模

- 受講者のアンケートと、企業対象に実施予定のヒアリングを参考に、受講生にとって納得できる価格設定をする。
- 受講生の満足度と運営効率のバランスを考慮し、適切な講座規模を検討する。
- **R6年度プログラム：30時間 5万円程度 ⇒R7年度：コンパクト型：15時間程度 2万円～3万円**

広報戦略の強化

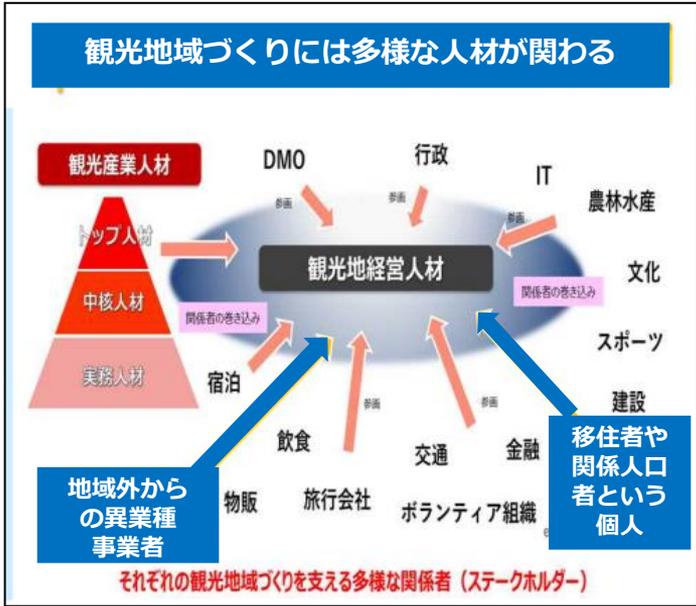
- よりターゲット層を明確化し、講座の魅力を効果的に伝えるための広報戦略を展開する。
- 熊本県内への業界団体、企業等からの直接広報、案内、メディアミックスによる広告戦略



* 宿泊施設、DMO、観光振興団体はニーズはあるものの、実際の受講へのハードルが高い。引き続き訴求すれど、メインターゲットとしない。

【ITエンジニアコース】
エンジニア職ではなく、営業、渉外、事務を含めて、AIを学びたい初級コースのニーズが高いことが分かった。

【IT利活用コース】
観光関係事業者以外で、観光地域づくりや地域活性、地方創生に関心が高く、IT利活用に関心が高い個人が、積極的に受講する傾向が高い。



大学と差別化するターゲットと講座形式

観光系学部を有する大学では、既にリカレント教育授業が展開されている。大学は、観光産業の経営人材（MBA）育成事業、中核人材育成・強化で60時間以上の厚手のカリキュラムとなっている。

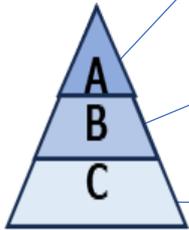
受講者の戦略的なターゲット設定

スパイラルアップなIICA授業内容拡充の仕組み

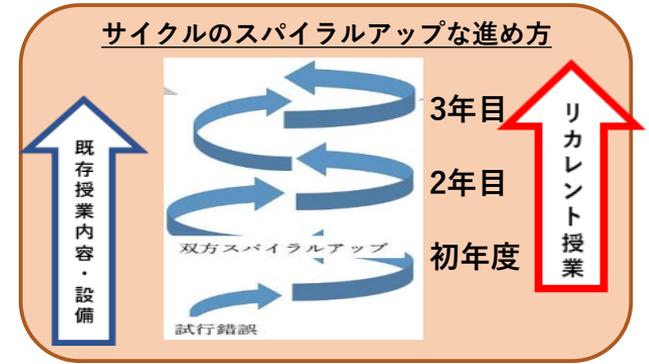
○ターゲット戦略

- ・3階層（一般、アマチュア、プロ）を広くとらえ、ニーズに沿った専門人材を複数年に亘りカバー
- ・アマチュア(B)と一般(C)をターゲットに実証・1年目開催で、2年目から受講者の声を反映

○リカレント授業を通じたデータ・テンプレート等のスパイラルアップな拡充によって、事業性を確保し、複数年に亘って継続可能な仕組みを運用する



受講者属性	実証 (セミナー形式で、オンラインのみ)	1年目 (正規カリキュラム)	2年目以降 (正規カリキュラム)
A: プロ	-情報処理技術者 -情報サービス業	同左。但し、実証結果を反映	同左。但し、1年目結果を反映
B: アマチュア	-地場九州メインの情報サービス業を中心に募集 -ユーザー企業の会社員は、情報システム担当、プランニング職、ITパスポート修了相当	同左。但し、実証結果を反映	同左。但し、1年目結果を反映
C: 一般	-ITパスポート修了相当 -ノードに興味のある一般 -全国	同左。但し、実証結果を反映	同左。但し、1年目結果を反映



1. ターゲットをよりC層に広げ、内容をChatbot開発から生成AI×業務効率化へ
2. 全ての授業をオンラインで提供

◆ 継続性やIICA授業との連携についての考え方は変化なし

基本情報	内容・目標等
学習ターゲット、 目指すべき人材像	①IT利活用コース：地域活性化や観光におけるIT活用に関心があり、地域づくりや他者との交流を通じて、新たな挑戦をしたいと考えている方。 ②AIキャリアアップコース 個人事業主、フリーランス、一般企業勤務（業務効率化担当、副業もしくは独立したいと考えている人）
対象者のレベル （当該プログラムに関する基礎知識の有無）	①IT利活用コース：ITのスキルは問わない。パソコンやスマートフォンを日常的に使える。新しい技術やツールを学ぶことに抵抗がなく、柔軟な姿勢を持っている方。 ②AIキャリアアップコース：ITのスキルは問わない。パソコンやスマートフォンを日常的に使える。新しい技術やツールを学ぶことに抵抗がなく、柔軟な姿勢を持っている方。
目標受講者数	① IT利活用コース : 12人 参加費 : 25,000円 ② AIキャリアアップコース : 40人 参加費 : 49,800円
総授業時数	① IT利活用コース : 19.5時間 90分×13回 ② AIキャリアアップコース : 19.5時間 90分×13回
受講期間	① IT利活用コース : 2ヶ月間 ② AIキャリアアップコース : 3か月間（10～12月）
e-ラーニングの実施の有無	① IT利活用コース : あり（オンライン講座、アーカイブ配信あり） ② AIキャリアアップコース : あり（オンライン講座、アーカイブ配信あり）

(1)「地域観光×IT活用」実践プログラム 構成 (全8日間/19.5時間)

地域を変えるのは、いつだって
"実践する人"だ

現場と繋がり、仲間と学び、自分の地域でアクションする。
観光×ITで、明日から使える戦略を。

地域観光 × IT活用

実践プログラム

期間	2025年7月17日～8月31日 (成果発表会)
形式	オンライン講義 (夜間) + 1泊2日南阿蘇フィールドワーク
定員	正規受講生12名限定

受講料 **正規受講料 : 25,000円**

2025年度は3本柱で展開します



正規受講生12名限定の密度の濃い学びで、「明日からアクションできる」をゴールに、質の高いアウトプットを導きます。

①起業者・実践者による特別講義(70分×3回 計3.5時間)：

観光・地域ビジネス・インバウンド戦略など、各分野の先駆者が登壇し、すぐに動き出したいくなる実践的な話を提供

ゲスト講師

➤
まちの移動の、つぎの習慣をつくる
～シェアサイクルを通じたまちづくりへの貢献～

シェアサイクル『チャリチャリ』で北部九州のインフラを変える挑戦を続ける現役経営者が語る、地域密着型ビジネスの実践論。15歳起業から培った事業創造の視点で、地域課題をビジネスで解決する手法と挑戦に必要な熱量の源泉を伝える。

🔑
地域インフラ革新

🔑
地域密着ビジネス

🔑
挑戦マインド



家本 賢太郎
(チャリチャリ株式会社/代表取締役)

➤
滞在型・高付加価値型観光事業のつくり方
～株式会社さとゆめの挑戦～

分散型ホテル事業で国土交通大臣賞を受賞した実践者が、『滞在型×高付加価値観光』の事業化ノウハウを公開。量から質へ、通過から滞在へ。時代変化を味方につける地域観光事業の新常識を体系的に解説。

🔑
滞在型観光戦略

🔑
高付加価値観光

🔑
地域資源活用



嶋田 俊平
(株式会社さとゆめ/代表取締役CEO)

➤
地域の魅力を“世界に届ける”方法
～インバウンド時代の観光マーケティングとIT活用術～

国内最大級のインバウンド情報サイト『やまごころ』の運営者が、地域事業者の視点を根本から変えていく。あなたの地域の「当たり前」を世界の「特別」に変える発想法と、小さな地域でも通用する観光マーケティング実践術を学ぶ。

🔑
インバウンド戦略

🔑
地域価値発見

🔑
グローバル視点



村山 慶輔
(株式会社やまごころ/代表取締役兼 インバウンド戦略アドバイザー)

②少人数制ゼミで伴走サポート(90分×1回+a 約7時間)：

選べる3つの専門ゼミで自分のテーマを深掘りし、講師が“伴走者”となり、仲間と対話しながら地域アクションを具体化。

3つの実践ゼミ

➤ 久保ゼミ：地域の未来をつくる“現場視点”の事業戦略を学ぶ

南阿蘇で地域DMOの運営や新規事業開発・事業承継によるローカルビジネスに取り組む講師と共に、現場での実践から学ぶゼミ。地域資源を活かした商品開発、官民連携、ITやデータ活用など、多様なテーマに触れ、自分の地域で動くための視点と力を磨く。



🔑 地域観光マーケティング
🔑 官民連携
🔑 新規事業開発

みなみあそ観光局(地域DMO)
戦略統括マネジャー
株式会社アクワイア/代表取締役

➤ 鈴木ゼミ：“ローカル×グローバル”の視点で観光と新時代を拓く

JTBやミャンマーでの起業経験を持つ講師と、今後ますます加速する訪日外国人市場と人材確保のリアルに挑むゼミ。観光業に必要な外国人対応、採用、定着、ITによる業務の省力化など“人”を軸としたローカル戦略を構築。



🔑 インバウンド対応
🔑 人材育成
🔑 コンテンツ開発・企画

イデアITカレッジ阿蘇
(副校長)

➤ 廣瀬ゼミ：“伝える”から“動かす”広報へIT×PRで突破する次の一手

LINEやリクルートでのメディア知識と広報経験、地域創生の現場を知る講師が導く、超実践型広報ゼミ。AIやデザインツールを活用したSNS運用、メッセージ設計、戦略PRを徹底して鍛える。



🔑 SNS&PR実践
🔑 AIツール活用
🔑 広報戦略

イデアITカレッジ阿蘇
(コーポレートコミュニケーション室 室長)

③南阿蘇での1泊2日現地研修 / フィールドワーク(1日目4時間+2日目5時間 計9時間) :

南阿蘇の自然・文化・暮らしを「見て・感じて・語る」2日間。学びの「実感」を高め、地域と関わる感覚を掴む

フィールドワーク in 南阿蘇 現地で学ぶ“生きた”知識

2日間のフィールドワークを通し、地域資源の活かし方やIT利活用の課題と可能性を実践的に学ぶ

熊本県南阿蘇地域を舞台に、地域資源を活用した観光まちづくりの現場を体感しながら、地域資源の活かし方やIT利活用の課題と可能性を実践的に学ぶ。現地視察で現場の裏側まで含めて知ることによって観光・地域振興における実践的なスキルとマインドを養い、実践型ゼミでのワークに繋げていく。

講師 久保堯之（地域DMO：みなみあそ観光局 戦略統括マネジャー）

受講対象者 正規受講生

総時間 9時間



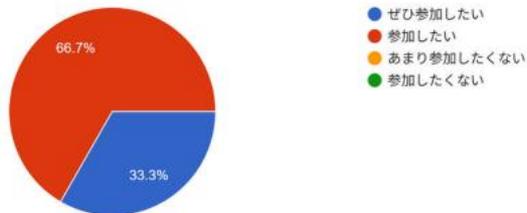


参加申込み 12名・修了証書発行 9名

定員12名の参加申込み有り。FWを除く2回欠席までで修了証書発行条件に達したのは9名。開催時期が7・8月だったため、宿泊事業者さまは8月の欠席が増加。次回以降、時期については調整予定。

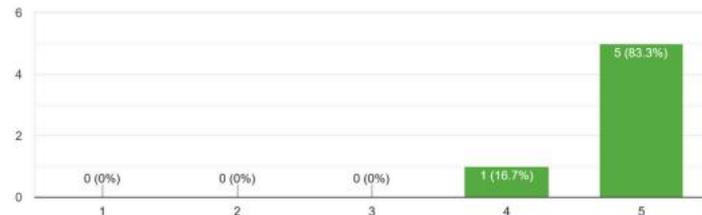
『来年も参加したい』100% (アンケート途中経過)

来年度もこの講座に参加したいと思いますか？
6件の回答



ゼミ満足度は★4.8 (アンケート途中経過)

全体を通してのゼミ満足度を教えてください。
6件の回答



- ・ゲスト講師のお話を聞く時間も沢山あり、その内容がアーカイブで共有されるので、見返すことができ大変良かったです。
- ・ゼミでは、先生から細かいところまでアドバイスをいただけて、より明日からのアクションを意識できる状態になれた
- ・ゼミ講師の手厚いサポートが印象的でした。工程管理から運営に際して、非常によく構成されていたと感じます。



こんなお悩み、ありませんか？

今、きちんと学ぶ事で
AIへの不安を自信に変える

AIを「知っている」から仕事で「使える」へ、
一歩踏み出せる講座を自信を持って提供します。



個人事業主・フリーランスの方

事務作業も発信も、AIが“右腕”に。
ビジネスに集中できる時間が生まれます。

- ✦ クライアントへの提案資料をAIツールで“たたき台”から自動生成。構成やトーンも調整可能で、準備時間を大幅短縮。
- ✦ SNS投稿のネタ出し・構成・画像作成まで一貫サポートするAIツールの使い方がわかるから、継続的な発信が可能に。
- ✦ 見積書・請求書・業務報告など、定型業務の効率化テンプレートを実践的に習得。本業に集中できる時間を取り戻せます。
- ✦ “競合がAIを導入している”という焦りから、“自分をもっと先に行ける”という自信に変わります。

業務効率化を担当されている会社員の方

「AIで効率化せよ」に答える
現場主導のアイデアと説得力を。

- ✦ AIを使った議事録作成、社内通知文、FAQ自動生成など、すぐ使える「社内AI活用事例」を多数習得。
- ✦ Excelでの集計・分析作業にAIを組み合わせて、作業時間を“圧倒的”にする方法を演習で学べます。
- ✦ 他部署を巻き込むための「社内説明資料」もAIで作成可能。説得力のある見出し・構成・グラフづくりまで実践。
- ✦ 「AIは現場ではこう使える」と、自信を持って提案できるようになり、DX推進のリーダーとして評価されやすくなります。



副業・独立を考えている会社員の方

時間も経験も足りない…だからこそ
AIで“もう一人の自分”を手に入れる。

- ✦ 限られた夜の時間でも、副業のSNS集客やサービス設計を効率的に行えるAIツールを習得。
- ✦ バナー制作、LPのたたき台作成、営業資料作成も“プロ級”に時短できます。
- ✦ AIを使ったアイデア出しや商品設計のフレームワークを学び、独立準備も着実に前進。
- ✦ 「AIがあるからこそ、今からでも遅くない」そんな一歩が、キャリア不安を希望に変えるきっかけになります。

そんなあなたのための

0 ゼロ
から学べる

社会人向けスキルアップ講座です！



講座の特徴・3つのポイント

誰でも始めやすい

続けやすい

使える講座設計

01

超基礎から
安心スタート

AIとは？から始まり、ステップ形式でどなたでも理解できる設計

02

プロ講師による
現場レベルの実践法

元トヨタのエンジニアが「実際に成果が出たAI活用法」を伝授

03

実務に使える
生成AI×業務改善を体感

文書作成・アイデア出し・業務効率化など即実践できるスキル習得

AI活用で生まれるリアルな成果創出事例

例えばこのような成果が

01

営業職 Aさん

1件あたりの
提案資料制作の効率UP

1日3件作っていたのが、今は倍の6件対応。提案数と受注率が上がり、上司からも一目置かれる存在に。

02

経理部門 Bチーム

月末処理のルーティン業務を
AIで自動化で残業時間削減

毎月の残業時間が30時間→5時間に削減。チーム全体で余剰リソースを企画業務に充てられるように。

03

個人事業主 Cさん

AI活用でInstagram投稿
作成数増加で売上UP

Instagramを週1回の投稿からAI活用で週3回へ。投稿数・反応率が上がり、売上が3か月で約1.8倍に。

カリキュラム概要

90分 × 13回

本講座では、「初心者でもすぐ使えるAIの実践力」をテーマに、以下の5つの柱（90分×13回）で構成されたカリキュラムを提供

STEP
01



生成AIの基礎【全2回】

- ・生成AI活用の目的と基礎(1回)
- ・ChatGPT/Claud/Gemini/その他ツール/基礎から応用まで(1回)

生成AIの基礎知識、ChatGPTなどの仕組みや活用シーンを丁寧に解説。現場で活用できる「聞き方」「調べ方」の技術を学び、資料作成やリサーチ業務の効率を向上させます。

STEP
02



生成AIの活用【全2回】

- ・議事録作成の効率化、社内マニュアルの作成(1回)
- ・社内ノウハウの集約(1回)

ChatGPTを使った社内向けチャットボットの使い方、NotebookLMを活用した教育資料・e-ラーニングの作成方法を学びます。

STEP
03

生成AI×マーケティング【全3回】

- ・ 事業企画の作り方 (1回)
- ・ AI活用マーケティングとクライアント獲得戦略 (2回)

AIを使った競合調査・事業企画案の作成・スライド資料作成スキルの習得をします。
ChatGPTを活用したInstagram投稿文の自動作成や、画像生成AIを用いた画像制作をおこない、マーケティング領域での活用方法を身につけます。

STEP
04

生成AI×事務処理の自動化【全4回】

- ・ 自動化システムの作り方
 - ① ChatGPT×スプレッドシート連携(2回)
 - ② 自動化ツールによるGmail自動返信システムの作成(2回)

これまで手動でやっていた様々な事務作業をAIを活用してどこまで自動化できるのか、実際に仕組み構築をしながらスキルを習得します。

STEP
05

生成AI×AIライティング技術【全2回】

- ・ SEO記事の効率的作成技術
- ・ キーワードリサーチの自動化
- ・ ChatGPTとGoogle検索APIを組み合わせたキーワード分析
- ・ AI生成記事の人らしさを高める編集テクニック

社会人に必要な「文章作成スキル」を身につけるために、基本的なライティングの考え方を身につけつつ、AIを使ってどう効率化するか？を学びます。

受講料：49,800円

<https://iica-mai.jp/>

①リカレントプログラム(IT・AI系、観光系)の競争優位性

- 大学リカレント講座との差別化
- 民間企業プログラムとの差別化

②キャリア形成促進プログラムと教育訓練給付金

- 教育訓練給付金の時間数と助成金
- 受益者(企業型と個人型、リカレントとリスキリング)負担と助成

③社会人・既卒者の学び直し・リカレントの方向性

- 専門学校自体の学び直し・リカレントプログラムへの展開